

青年会議だより

ADCA 青年会議総会

今年度の青年会議幹事会は、幹事1名が前任者から交代し、加えて、幹事長以下役職も幹事会内で交代となり、各幹事は心機一転して活動に励むこととなりました。

現在、世界で約9億2500万人が栄養不足に苦しんでいると言われており、その多くは開発途上国の低収入農村地域で暮らす人々である。このような栄養不足人口を多く抱える開発途上国では、農業・農村開発を通じた食料増産が喫緊の課題となっている。そのため、我が国の農業・農村開発分野における政府開発援助（ODA）では、食料増産に向けたハード・ソフト面での支援を行いながら、さらに農村地域住民の生計向上や Basic Human Needs を満たすためのインフラ整備等の支援が重要である。加えて、地球規模の課題である気候変動への対応のほか、アフガニスタン国といった紛争後の地域においては、復興地域の核となる農業リーダーの研修が計画されるなど、紛争あるいは自然災害に対する復興・開発を国・地域レベルで考慮することも必要になっている。今後、貧困、飢餓、環境、紛争、災害などの様々な課題を克服すべく、多角的な農業・農村開発支援を展開することが必要である。

これらの農業・農村開発分野でのODAにおける背景を受けて、青年会議は、各会員に幅広い知識の習得と理解を深める場や有益な情報を提供し、今後の活動に貢献することを目的に活動を行う。また、情報メディアを通じて関係機関等の多くの方々に農業への関心を持って頂き、農村開発ならびにADCAの活動に対する理解を得るための広報活動を行う。

青年会議の活動実施にあたっては、賛助会員各社に活動への参加を積極的に呼びかけ、より広範な会員の参加を目指すものとする。

ADCA 青年会議勉強会

ADCA 青年会議では、平成22年に行われた2回の勉強会に引き続き、今年度3回目の勉強会を以下の通り開催いたしました。

【第3回 勉強会】

日時：平成23年3月8日（火） 14:00～15:30

会場：農業土木会館 2階会議場

講師：農林水産省大臣官房 国際協力課 森山信弘 国際交渉官

演題：「海外農業投資をめぐる事情について」

ご講演においては「1. 穀物等の需給等をめぐる状況」、「2. 穀物等の需給のひっ迫や価格高騰等の影響と国際的な対応」、「3. 我が国の食料輸入をめぐる状況」、「4. 海外農業投資の増大および行動原則の必要性と対応」についての説明をいただきました。説明にあたっては国内外で公表されている統計データや文献をもとに、

過去から現在にかけての我が国や諸外国の取り組みの事例をご紹介いただきました。また、我が国の政府関係機関が今後、海外農業投資を支援して行くにあたっての方針の検討経緯と指針の概要、国際社会への働きかけ、投資にあたっての官民連携モデルのイメージ等、今後の海外農業投資促進の方向性についてのご説明をいただきました。

講演の後、質疑・応答の時間が設けられ、参加者との間で活発な意見交換が行われました。今年度3回目の勉強会も大変有意義な会となりました。ご講演いただきました森山信弘国際交渉官および参加者の皆様、誠にありがとうございました。

